

簡易基礎クリフストーン1～5型 (本体施工)

取付説明書

- このたびは、東洋エクステリア製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- 正しく施工、組付けをしていただくために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。

<お願い> こちらの取付説明書を先にお読みください。

この取付説明書は、「簡易基礎クリフストーン1～5型の本体据付施工」について説明したものです。

先に簡易基礎用の本体を施工していただき、次の……

- 割石セットの梱包明細
- 石張りおよび石割り(石の割付け)
- 笠木の取付け
- 目地埋め(1～2型のみ)
- 結線ボックスの取付け(照明・インターホン用のみ)
- 結線ボックス内での結線方法(照明・インターホン用のみ)
- 本体の清掃および割石補修材の塗布

施工については、「クリフストーン1型・2型門柱」または「クリフストーン3型・4型・5型門柱」の取付説明書にて施工をお願いします。

■梱包明細書

①本体セット

名 称	員 数								
	1型・独立			2型・独立			3～5型・独立		
	H700		H1000	H700		H1000	H700		H1000
	標	機	標	標	機	標	標	機	標
発泡芯材(本体)	1	1	1	1	1	1	1	1	1
結線ボックス材	—	1	1	—	1	1	—	1	—
結線ボックスカバー	—	1	1	—	1	1	—	1	—
結線ボックスカバーパッキン	—	1	1	—	1	1	—	1	—
結線ボックスカバー組付ネジ M3×14サラ	—	2	1	—	2	1	—	2	—
結線ボックス材組付ネジ M4×60ナベ	—	2	1	—	2	1	—	2	—
接着剤	4	4	4	4	4	4	4	4	4
位置固定クギ	160	160	160	160	160	160	—	—	—
割石おさえクギ	80	80	80	80	80	80	—	—	—
すき間埋め用クッション材 L=2m	—	—	—	—	—	—	3	3	3
割石仮固定用テープ 50mm×25m	—	—	—	—	—	—	1	1	1
C D管(発泡芯材組込み) L=1m	—	2	—	—	2	—	—	2	—
取付説明書(2種類)	各1	各1	各1	各1	各1	各1	各1	各1	各1
取扱説明書	1	1	1	1	1	1	1	1	1

②土質安定剤

名 称	員 数								
	1型・独立			2型・独立			3～5型・独立		
	H700		H1000	H700		H1000	H700		H1000
	標	機	標	標	機	標	標	機	標
土質安定剤(20kg入り)	1	1	1	1	1	1	1	1	1

<注 意>

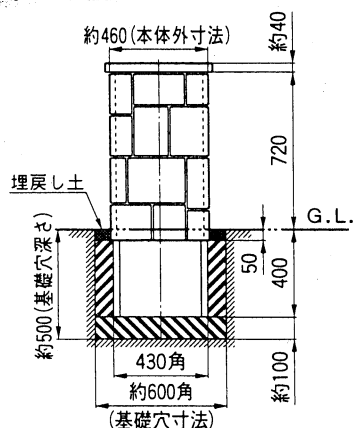
- 表中、標：標準仕様、機：照明・インターホン用を示します。

<土質安定剤の使用量について>

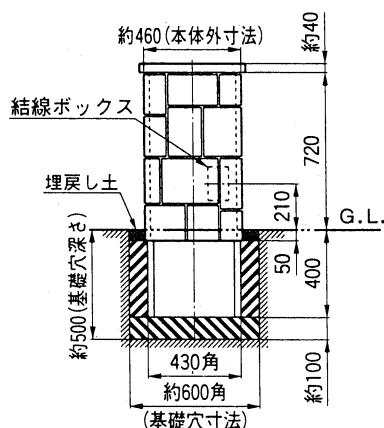
次ページ「1.基本寸法図」の基礎穴サイズ 約600×600角、深さ500であれば、土質安定剤は梱包明細の通り各1袋でかまいませんが、それ以上の基礎穴サイズで施工される場合は2袋以上必要です。

1.基本寸法図

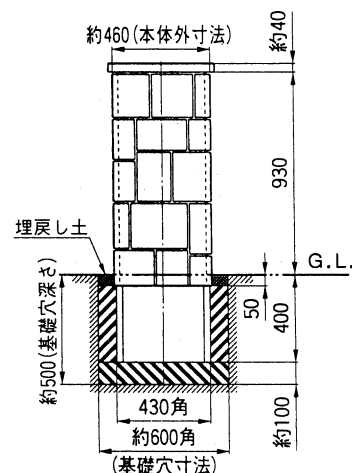
1-1 1型



H:700 独立仕様(標準)



H:700 独立仕様(照明・インターホン用)

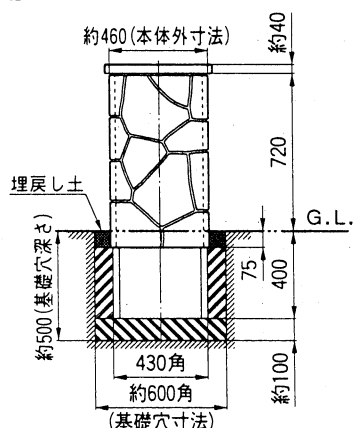


H:1000 独立仕様(標準)

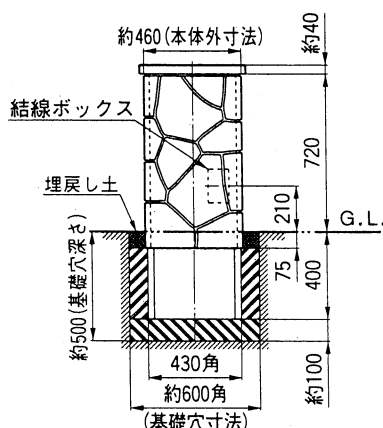
<注意>

- 斜線部は、土質安定剤添加の埋戻し土の範囲を示します。

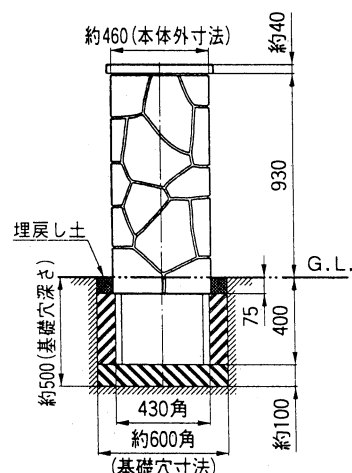
1-2 2型



H:700 独立仕様(標準)



H:700 独立仕様(照明・インターホン用)

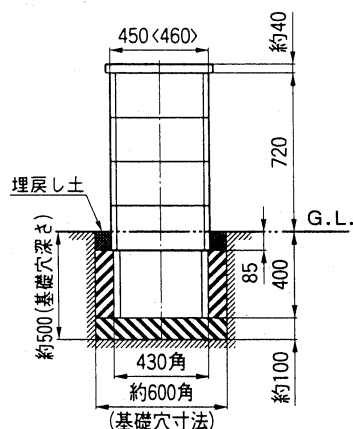


H:1000 独立仕様(標準)

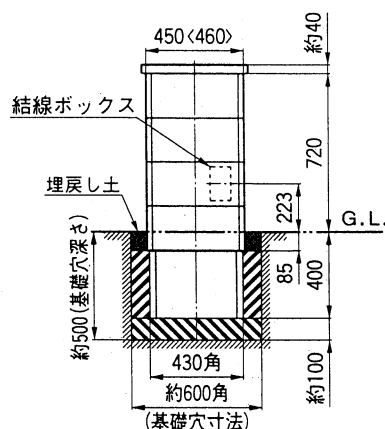
<注意>

- 斜線部は、土質安定剤添加の埋戻し土の範囲を示します。

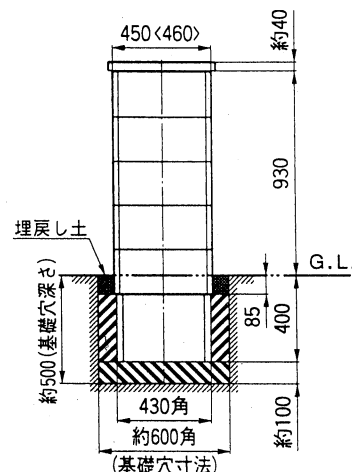
1-3 3-5型



H:700 独立仕様(標準)



H:700 独立仕様(照明・インターホン用)



H:1000 独立仕様(標準)

<注意>

- 斜線部は、土質安定剤添加の埋戻し土の範囲を示します。
- < >内寸法は、5型を示します。

2. 施工上の注意

この商品は施工される場所の土質により、本体の保持強度が左右されます。下に示す内容を再度確認して、施工を行ってください。

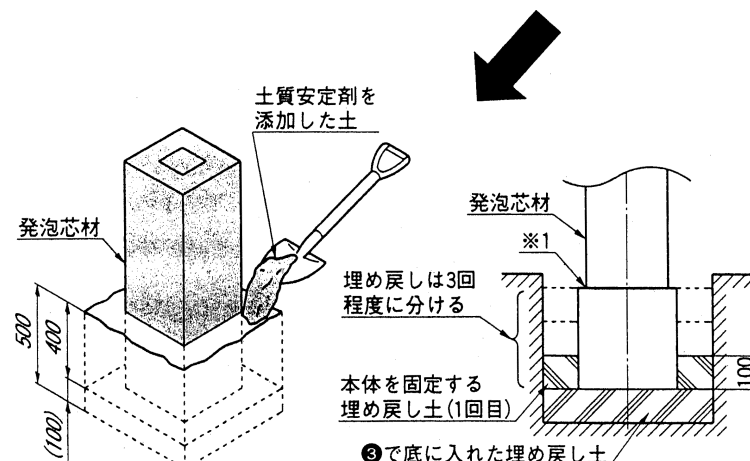
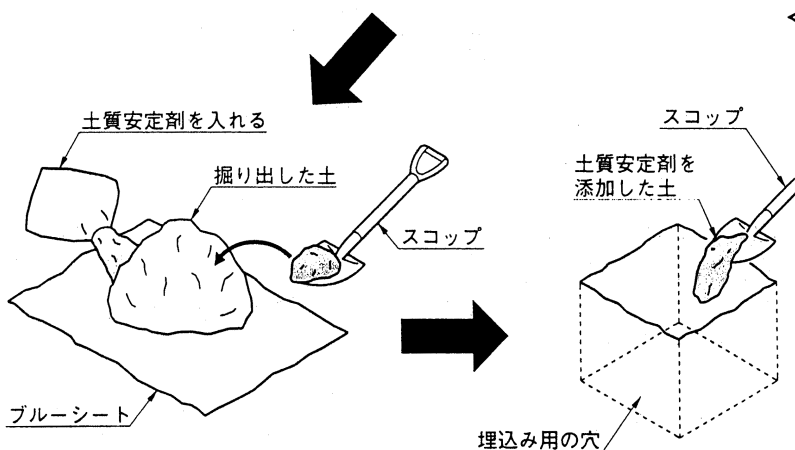
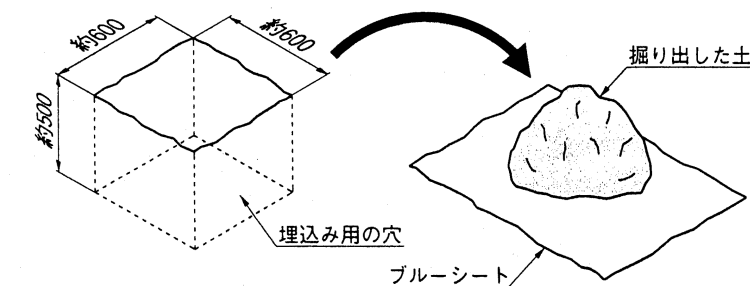
<施工可能な土質>

- 山砂などの砂質土
- 粘性土(粘土質のもの)と砂が混じった土

<施工ができない土質>

- 住宅地盤そのものが軟弱で...
 - ・土壌の入れ替えを行なっている場合
 - ・土壌改良剤を添加して3~5 t/m²の地耐力を確保した場合
 - ・安定地盤まで基礎杭を打込んでいる場合
- 火山灰質粘性土(ローム)が基礎部のおもな土となる場合
- 腐葉土など植栽、植物専用の用土が基礎部のおもな土となる場合

3. 本体の埋込み

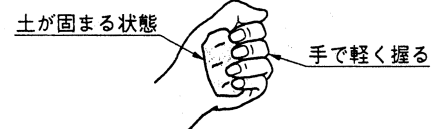


① 埋込み用の穴をあらかじめ掘ってください。掘り出した土は後で土質安定剤の添加を行なって埋め戻しに使用しますので、ブルーシート等の上にまとめておいてください。

② 土質安定剤(20kg)を掘り出した土に、スコップ等で軽く混ぜ合わせてください。添加の目安は10%(重量比)です。

<注意>

- 掘り起こした土を軽く握っても、手の中で固まり状にならない場合は水分の不足です。その場合は、土が固まり状になるまで散水してください。特に夏場は乾燥が早いので注意してください。



③ 基礎穴の底に所定の深さになるまで、土質安定剤を添加した土を入れて底をたいらに突き固めてください。

④ 発泡芯材の本体を据え付けてください。

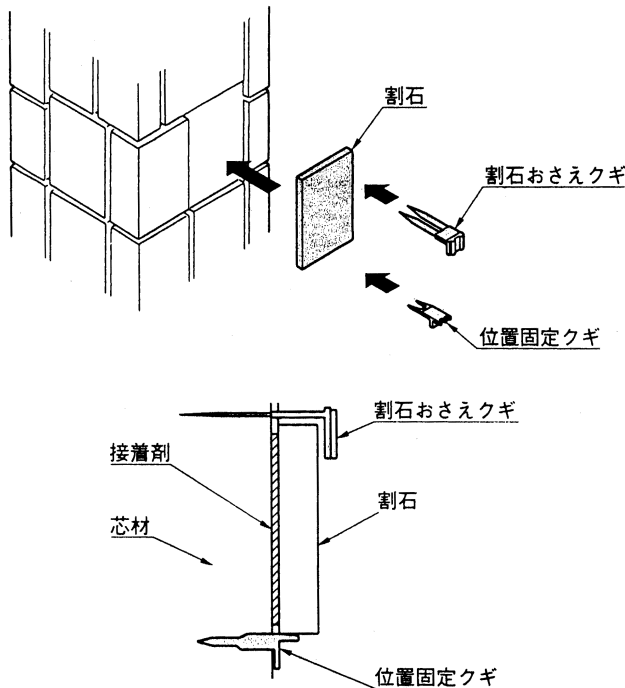
⑤ 本体の傾きに注意して、土質安定剤を添加した土を埋め戻してください。埋め戻しは100mm位を埋め戻し、足や突き棒などで突き固めて、それを3回程度くり返してください。

⑥ 基礎部の埋め戻しと突き固めが終了したら、石張りを行なってください。

<注意>

- 発泡芯材の段落ち部より上は埋め戻さないでください。石張りのさまたげになります。(※1)

4.1・2型の石張り方法



<注 意>

- この商品の1・2型は、石形状のヘコミを無くしクギ方式の固定に変更しています。

- ① 1型・2型の石張りについては、発泡芯材に石番号と輪郭を印刷してありますので、その位置を目安に接着剤を塗布した石を貼り付けてください。

<注 意>

- 割付や接着剤の塗布方法は、同梱の「クリフストーン1型・2型門柱」の取付説明書に記載していますので参照してください。
- ② 位置固定クギと割石おさえクギを発泡芯材に差込んで、石を仮固定してください。接着剤が硬化し、石が完全に固定するまでクギはさしたままにしてください。

5.土質安定剤の取扱いについての注意事項

土質安定剤の主成分はセメントでありアルカリ性であるため、取扱いや廃棄については次の注意事項を守ってください。

<施工上の注意>

- 土質安定剤は粉末状です。開封や添加時に飛散する場合がありますので注意してください。
- 他の目的に使用や添加はしないでください。

<安全上の注意>

- 保護具の着用：取扱うときは、ゴム手袋・保護眼鏡・マスク等を着用してください。
- 飲食の禁止：食べたり、飲んだり、人体の中に入れないでください。
- 皮膚付着時：多量の水にてよく洗浄してください。炎症が起きた場合は医師の診断を受けてください。
- 作業後の注意：作業後、手洗い・うがいをしてください。

<廃棄上の注意>

- 使い残した材料および土質安定剤を添加した残土は、不用の容器もしくは袋などに入れ、固めてから産業廃棄物業者に処理を委託してください。
- 海・河川・湖沼・池・下水道へ流入すると、汚濁・汚染のおそれがありますのでやめてください。

工事店様へ

- 仕上げ後、本体についているモルタルを完全に拭き取ってください。硬化後拭き取りますと表面を痛めますのでご注意ください。
- みだりに改造、変更はしないでください。
- 施工終了後、取付説明書は施主様にお渡しください。
- ご使用いただきましてありがとうございました。

施主様へ

- 月に一度程度のお手入れで美しさが長く保てます。汚れの軽い場合は水にぬらした柔らかいぞうきんで拭き取ってください。また汚れのひどい場合はうすめた中性洗剤で拭き取ったのち洗剤が残らないように拭き取ってください。

取説コード

A258

199909A